

幸せの歌



2015NEN

JA宗谷南

NEW YEAR GOU
~ SEASON39 ~

年頭の挨拶



宗谷南農業協同組合
代表理事組合長

向井地 信之

2015年 謹賀新年



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。明けましておめでとございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。また、日頃から農協の各事業の推進に對しましては、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成26年を振り返りますと、TPPにつきましても、政府が掲げていた年内妥結は年越となり、新たな妥結予定目標の明示もない状況であります。アメリカの中間選挙の結果を受け、自由貿易を強く主張する共和党の関税撤廃の要求が強まる懸念が危惧されます。

また、農協改革に關しましては、政府が閣議で「規制改革実施計画」を決定しましたが、JAグループ北海道はこれに先立ち、組織・事業の在り方の見直しを行う、「改革プランの策定」を組合員・JAの多様な意見を踏まえ取りまとめる事を決定し、全道各地での組合員組織討議を経て、「JAグループ北海道改革プラン」として自己改革に期間を5年間として取り組む事としております。

宗谷南農協の生乳生産量は、前年から減産傾向が響

き、前年対比割れが続いておりましたが、11月中旬より前年対比100%を上回り、幾分回復傾向が見られるようになりましたが、26年の出荷乳量は(クミカン年度)55,766トと前年対比96.5%にとどまり、昨年は搾乳中止や離農組合員が4戸を数えた事や、粗飼料は順調に収穫され量的には確保されましたが、中には、タンパク、エネルギー等の栄養価が低い粗飼料の収穫となった事も要因と思われます。この様な状況から当農協と致しましては、乳量増産を目的とし乳牛導入1頭に対して5万円の助成や、1kg当たり7円の増産プレミアム乳価の設定など、生乳増産対策を講じてまいりました。

組合員のクミカン内容に於きましては、生乳生産量減産となった組合員が多く散見されましたが、肉用牛、特に初生犢・交雑種の価格が高騰し、個体販売については好条件が続いたこともありクミカン精算は無事終了致しました。

また、新年度の営農計画樹立に於いては、一部の組合員におかれましては、厳しい内容となっております。やはり、所得向上には、生乳生産が基本でありますので、

日頃の乳牛の健康管理を含めた飼養管理の徹底が、経営安定につながる事を念頭に、生乳生産増加に取り組んで頂きたいと思っております。

組合事業の年度末収支見込につきましては、概ね順調に推移しておりますが、販売事業につきましては、生乳販売量の落ち込み、又購買事業の給油部門につきましては、円高が影響したことや、石油価格が高値に推移した事による利幅減少などの、厳しい状況下にあります。

懸念事項であります不採算部門については、経営改善が求められている中、合理化等を実施しながら、解消に努めている所であります。Aコープにつきましては、準職員とパート職員により運営を致し、人件費の削減をしております。又移動購買車につきましては、買い物が困難な高齢者や農繁期の組合員のために稼働しており、利用者の皆様に大変喜ばれており、目的が侵透されて来ていると思っております。

メカニックスサービスにつきましては、厳しい状況ではございませんが、最低限の人数で試行錯誤し数字的に赤字を減らすよう努力しております。

今後も組合員皆様のご利用、ご協力を仰ぎながら整備事業を継続出来るよう事業展開してまいりますのでご理解を賜りたく存じます。

又、子会社の(株)アグリサポート枝幸は規模拡大による労働者不足、高齢化による労働力の低下、機械購入による経営圧迫等の課題に対処すべく、農作業の受託を行い組合員の生産の維持拡大、営農期間の延長、経営安定を図る事を目的とし、中山間地集落事業との協力の下稼働しております。

又、今年より支所スタンド跡地を中継基地として歌登地区の組合員の要望に応えるため進めており、現在農作業受託調査を行っておりますのでご利用宜しくお願い致します。

最後になりますが、組合員並びにご家族様、関係各位の皆様にとって事故のない健康で豊穰の1年でありませう心からご祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

宗谷南農業協同組合



代表理事 組合長	向井地 信之
理事・総務委員長	辻 弘道
理事・業務委員長	小野寺 俊一
理事・生活店舗・整備工場運営特別委員長	小林 政夫
理事・総務副委員長	木村 浩
理事業務副委員長	下山 勲
理事・生活店舗・整備工場運営特別委員長	山崎 幸夫
理事 兼 参事	寺前 孝義
理事兼金融・共済部長	清野 盛
代表 監事	高橋 壮治
監事	開地 保
員外 監事	平田 勝一郎
他 職員一同	

新年の挨拶



北海道農業協同組合中央会
会長

飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、概ね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされている事に対して、改めて敬意と感謝をを申し上げる次第です。

平成26年は午年(うまどし)でありましたが、農業・JAを取り巻く個々の情勢変化に加え、年末には衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活の様々な面に大きな影響をを及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・官僚・交渉官等による各種合意並びに交渉が継続的に行われています。昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会談では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取り組みをさらに進めていくことを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあ

ります。国のかたちを大きく変容させない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざる得ません。国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残さないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取り組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に配慮る北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ」北海道改革プラン(実行計画指針)をとりまとめました。今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランに基づく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自

国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取り組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかっていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取り組み、農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことがかんばんであります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追及し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年(ひつじどし)です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切に、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになりますが本年が天候に恵まれ実り多い年になりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶と致します。

新年の挨拶



宗谷南農協女性部
部長

奥出 さい



2015年の年頭に当たり一言、ご挨拶申し上げます。

明けましておめでとうございます、部員の皆様をはじめ、ご家族様に於きましては、ご健勝にて新年をお迎えの事と存じます。

さて、昨年を振り返りますと、春の融雪の遅れに始まり粗飼料の収穫期の悪天候、そして師走の台風並みの猛吹雪など、自然相手の仕事にとって非常にご苦勞の多い一年ではなかったでしょうか。

そのような中、女性部では、昨年から始めました、漁協女性部との交流会や枝幸の食材を使って作る「サチコレ（枝幸フードコレクション）」への出品など、積極的に地域交流に参加しました。

又、視察研修ではNHK朝のテレビ小説「マッサン」を先取りしようと余市町のニッカウイスキー工場の見学を行いました。創業当時から建造物も多く、試飲コーナーでは、お酒の好きな人は楽しんでたようです、その後ブドウ狩りを楽しみました。

二日目は札幌で、5時間程の自由時間が有り、手芸や染色の材料を求める人やショッピングを楽しむ人、他には、私を含め円山動物園へ行きました。

もう3年程前になるでしょうか、子供達と冬の円山動物園行つた以来でしたので、なつかしさと変わりつつある動物園を楽しみました。時折雨に打たれながらでしたが楽しい二日間を過ごしてまいりました。

又、昨年は、2月末～3月かけてニュージーランドへの視察研修にも参加させて頂き、雪の降らない国の酪農の違いや放牧中心(年中)であるため土地の管理の良さなど学ぶ事の多い視察でした。

女性部では、中山間地事業からのご支援を頂き、全員にエプロンを作り配布しました。菅原・高橋両副部長の働き掛けで女性部のネームを入れ、ベージュと赤の2色でそれぞれ年齢と好みで分けて頂き、昨年のおくばりフェスタで早速着用しました。これからも、町などや様々なイベント時には活用させていただきます、本当にありがとうございます。

今年も、漁協女性部との交流や、サチコレへの出品など、忙しい中でも楽しむ事を忘れない様な活動を心がけ、少し先の不安(TPPや離農者など)もあります、現状と向き合い女性にしか出来ない事や、今やらなければなら

ない事へ前向きに取り組んで行きたいと思っております。最後になりましたが、JA宗谷南をはじめ、各関係機関の皆様のご指導、ご協力を賜りながら、今年度も女性部活動を進めて参りたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。今年度も幸多き一年であります事を、ご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

宗谷南農協女性部

部長	副部長	副部長	理事	理事	監事
奥出 さい	菅原 環	高橋 尚美	樋口 幸子	田中 美代子	真壁 裕子
					生方 和歌子



年頭の挨拶



宗谷南農協青年部
部長

森次 勇治



新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、日頃青年部活動に對しまして農協及び関係機関の皆様から、旧年中に賜ったご支援、ご指導とご協力に對し心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、広島県での大雨による土砂災害や、御嶽山の噴火などにより多くの方が犠牲となったニュースを聞き、改めて自然災害の恐ろしさを痛感させられました。更に、12月には台風並みに発達した爆弾低気圧が発生、幸いこの地域は大きな被害はありませんでしたが、年々気象条件は厳しさを増している気がします。

そんな中、政治情勢に於いては、突然の衆議院解散、総選挙があり自民党・公明党の連立与党勝利という形にはなりましたが、多くの事はまだ進行途中です。今後、消費税増税やTPP交渉などの問題がどのように進んでいくのか、我々酪農家はより一層注視していく

必要があると思います。

青年部活動につきましては、町のイベントでの牛乳の無料配布などによる牛乳消費拡大活動と、子供達にもっと牛乳の事を知ってもらおうと続けている紙芝居の読み聞かせを枝幸幼稚園で行いました。青年部のマスコットキャラクター「みるきいちゃん」は子供達に大人気で、とても良いアピールとなりました。

更に昨年は、ゆるキャラ大集合という事で初めてカニ祭りにも参加させて頂いたり、活躍の場が広がりました。

本年も「みるきいちゃん」を中心に新しい取り組みにも挑戦し、更に部員の勧誘にも力を入れ、より充実した青年部活動にしていきたいと思えます。

最後になりますが、酪農情勢もめまぐるしく変化する大変厳しい状況ではありますが、青年部活動を通して多くの事を学び個々の経営をより良いものとするために、更なる関係機関のご協力、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

今年1年が良い年でありますように、皆様のご健勝とご多幸を祈念致しまして、年頭の挨拶と致します。

宗谷南農協青年部

部長	森次 勇治
副部長	今 尚 春
副部長	大 塚 悟
理事	関 口 真 也
理事	向 井 地 善 史
監事	樋 口 哲 也
監事	松 田 司

本年も宜しくお
願います。



謹賀新年



昨年中は大変お世話になりました。衷心よりお礼申し上げます。

今年も自己研鑽を重ねて知識と技術の向上を図ってまいります。

何とぞ、昨年と変わらぬご支援を賜ります様お願い申し上げます。

皆様におかれましても、健康で稔り多い年であります様ご祈念申し上げます。

枝幸郡枝幸町南浜町368番地17
株式会社 アグリサポート枝幸
代表取締役 向井地信之
外 役員 一同

組 令 長 小 林 政 夫
副 令 長 安 井 一 晃
理 事 安 庭 明 彦
理 事 按 庭 明 彦
理 事 澤 田 和 人
理 事 浜 口 昌 彦
理 事 山 岸 也 彦
理 事 高 橋 博 須
代 表 監 事 政 木 大 治
監 事 石 田 幸 也

宗谷南酪農ヘルパー利用組合

組 令 長 下 山 尚 勲
副 令 長 今 山 尚 春
理 事 関 口 真 也
理 事 山 岸 也 彦
理 事 向 井 地 善 史
理 事 井 上 英 之
代 表 監 事 藤 山 祐 介
監 事 高 橋 慶 大

宗谷南乳牛検定組合



会 長 菅 原 重 道
副 令 長 菅 野 勇
副 令 長 戸 澤 礼 子
理 事 手 嶋 金 造
理 事 高 橋 正 巳
理 事 戸 澤 敏 子
監 事 樋 口 幸 子

宗谷南農協年金友の会

会 長 向 井 地 信 之
副 令 長 山 崎 孝 敏
副 令 長 日 南 厚 一
監 事 中 野 隆
監 事 榊 原 和 也

宗谷南乳質改善協議会



